

巡視・点検記録表（例）

点 検 調 査 表			整理番号	
場 所 (マンホール番号等)		市 町 番地先 ()		
点検日		平成 年 月 日		点検担当
点 検 項 目	マンホール ふた	磨耗 ガタツキ 段差 歩道欠損 破壊 場所不明		
	マンホール 内部 (副管含む)	腐食 破損 ブロックずれ 浸入水 滞留 足掛腐食 管口不良 ガラゴミ 臭気		
	管きよ	腐食 破損 目地ズレ こう配不良 浸入水 木根 土砂等 油脂類 路面沈下		
	ます	ふた（破損なし） 段差 腐食 破損 インポート破損 土砂等 場所不明 臭気		
	取付け管	破損 ズレ 土砂等 路面沈下		
陥没危険度 判定項目	路面沈下	通行に支障を来す段差や不陸が、(ある・ない) (マンホール周辺部・路線埋戻部（縦断的・部分的）)		
	マンホール	ふた周辺に溢水や通行に支障を来す路面との段差が（ある・ない） 内面に破損，土砂堆積，浸入水等が（ある・ない・不明）		
	管きよ破損	破損・沈下等が（ある・ない・不明） 浸入水・侵入根など周面空洞の可能性が（ある・ない・不明）		
	取 付 け 管 破 損	破損・沈下等が（ある・ない・不明） 浸入水・侵入根など周面空洞の可能性が（ある・ない・不明）		
	目地ズレ	段差や脱却が（ある・ない・不明）		
	管きよ内 土砂堆積	管周面の土砂の流入による堆積が（ある・ない・不明）		
調査日		平成 年 月 日		調査担当
調査結果				
作 業	要・不要	☐ 請負 視覚調査（潜行目視調査，テレビカメラ調査） ☐ 直営		
作 業 依 頼 日	平成 年 月 日		作業予定日	平成 年 月 日
作 業 完 了 日	平成 年 月 日			
備 考				

出典： 下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案） 平成 25 年 6 月，公益社団法人日本下水道協会

管きよ及びマンホール等の点検記録表（例）

点検箇所住所				台帳番号		
マンホールNo.		点検日時		平成 年 月 日	AM・PM	:
監督員（職・氏名）						
委託事業者				現場代理人		
監理技術者				担当技術者		
点検項目		点検結果 (異状の有無)		異状の状態等		対処の要否
地上	路面凹凸	有	無			
躯体	破損	有	無			
	腐食	有	無			
	変色	有	無			
管口	破損	有	無			
	腐食	有	無			
	変色	有	無			
管体	破損	有	無			
	腐食	有	無			
	変色	有	無			
流下 状況	滞水	有	無			
	堆積	有	無			
【点検者の所感】						

（事務連絡 平成 28 年 3 月 30 日 下水道法施行規則第 4 条の 4 第 2 項による点検結果の記録について：国土交通省水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課課長補佐）

表 4.2.1.(4) 点検記録表（例）⁸⁾ 抜粋加筆

点検日		平成 年 月 日	点検担当	整理番号	
マンホール番号		場所	市 町 番地 号	地先	
点 検 項 目	マンホール蓋 (周辺舗装含む)	外観（要改築・要調査）、 がたつき（要改築・要調査） 表面摩耗 ^{※2} （要改築・要調査）、 蓋・枠間の段差 ^{※2} （要改築・要調査） 開閉性（要改築・要調査）、周辺舗装の損傷（要改築・要調査） 蓋・周辺舗装の段差 ^{※2} （要改築・要調査）、蓋裏腐食（要改築・要調査）			点検結果 ^{※3} 要改築 要調査 異状なし
	蓋タイプ ^{※1}				
	マンホール内部 (副管含む)	足掛腐食、腐食、破損、ブロックズレ、浸入水、樹木根、管口不良、滞留、土砂、 ガラゴミ、臭気			
	管きよ	腐食、破損、目地ズレ、勾配不良、浸入水、樹木根、土砂、モルタル、油脂類、路面沈下			
	ます	蓋（破損なし）、段差、腐食、破損、インバート破損、土砂等、場所不明、臭気			
	取付け管	破損、ズレ、土砂等、路面沈下			
	陥没危険度判定項目	路面沈下 マンホール 管きよ破損 取付け管破損 目地ズレ 管きよ内土砂堆積			通行に支障をきたす段差や不陸が（ある・ない） （マンホール周辺部・路線埋戻部（縦断的・部分的）） 蓋周辺にいつ（溢）水や通行に支障をきたす路面との段差が（ある・ない） 内面に破損、土砂堆積、浸入水等が（ある・ない・不明） 破損・沈下等が（ある・ない・不明） 浸入水・樹木根侵入など管きよ周囲に空洞の可能性が（ある・ない・不明） 破損・沈下等が（ある・ない・不明） 浸入水・樹木根侵入など管きよ周囲に空洞の可能性が（ある・ない・不明） 段差や脱却が（ある・ない・不明） 管きよ周囲の土砂の流入による堆積が（ある・ない・不明）
特記事項					

※1 マンホール蓋変遷表がある場合は、蓋タイプを記入すること。

※2 異状箇所を計測した場合は、特記事項欄に記入すること。

※3 マンホール蓋の状況にひとつでも「要改築」があった場合、マンホール蓋の点検結果は「要改築」と判定すること。

（下水道維持管理指針 実務編 2014 年版 P95：（公社）日本下水道協会）

管口カメラ点検記録表（例）

管口カメラ点検記録表

点検日	年 月 日	点検員	No.
-----	-------	-----	-----

図面番号	マンホール番号
------	---------

マンホール点検結果

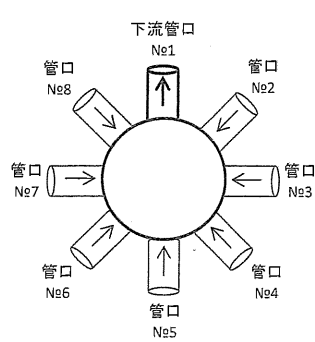
判定結果		蓋の点検内容				マンホールの点検内容			
措置	有	異状項目	異状の状況	異状有	写真番号	異状項目	異状の状況	異状有	写真番号
調査	□	蓋のタイプ	蓋変遷表のタイプ番号を入力する	□		腐食	鉄筋露出、骨材露出が生じている	□	
		外観	蓋・枠の損傷、舗装材の付着がある	□		破損	欠落・陥没、土砂の露出・流入がある	□	
		がたつき	足踏みでのがたつき、車両通行音がある	□		クラック	亀裂、土砂の露出・流入がある	□	
		表面摩耗	横溝高さの減少、角に丸みを帯びている	□		隙間・ズレ	脱却、目地ズレ、土砂の露出・流入がある	□	
清掃	□	蓋・枠間の段差	蓋と枠に段差がある（蓋・周辺舗装）	□		浸入水	目地や異状箇所から水が流れている	□	
		舗装の破損	舗装の破損、周辺の縁切れが生じている	□		樹木根侵入	目地や異状箇所から樹木根が侵入している	□	
		蓋・舗装の段差	蓋・枠と周辺舗装に段差がある	□		調整部不良	破損・欠落、ズレが生じている	□	
		開閉性	勾配面の腐食、開閉に困難が生じている	□		足掛不良	欠落、腐食、不足している	□	
その他	□	蓋裏腐食	錆出し表示が見えないほど発錆している	□		底部不良	インバートが無くなっている	□	
						流下阻害	滞留、土砂・油脂・モルタル・異物等がある	□	
特記事項						臭気	臭気、有害ガスが発生している	□	
注意事項		※未確認箇所がある場合は詳細調査に○する。							

管口カメラ点検結果

本管接続方向		No. 1（下流）	路線番号	管種	管径	mm						
判定結果		異状項目	異状の状況	管口		1〜3本目程度		4本目程度以降				
措置	有			異状有	写真番号	異状有	写真番号	異状有	写真番号	異状有	写真番号	
調査	□	腐食	鉄筋が露出している	□	有	□	有	□	有	□	有	□
		たるみ・蛇行	たるみ・蛇行、滞留が生じている	□	有	□	有	□	有	□	有	□
		破損	欠落、亀甲状の割れ(塩ビ)、土砂の露出・流入がある	□	有	□	有	□	有	□	有	□
清掃	□	クラック	亀裂、土砂の露出・流入がある	□	有	□	有	□	有	□	有	□
		継手ズレ	脱却、継手ズレ、土砂の露出・流入がある	□	有	□	有	□	有	□	有	□
		偏平・変形	偏平、内面への突出しが生じている(塩ビ)	□	有	□	有	□	有	□	有	□
その他	□	突出し・抜け	本管の突出し、抜けが生じている	□	有	□	有	□	有	□	有	□
		浸入水	継手や異状箇所から水が流れている	□	有	□	有	□	有	□	有	□
		取付け管突出し	取付け管が突き出ている	□	有	□	有	□	有	□	有	□
		流下阻害	土砂・油脂・樹木根・モルタル・異物等がある	□	有	□	有	□	有	□	有	□
備考												

本管接続方向		No.	路線番号	管種	管径	mm								
判定結果	異状項目	異状の状況	管口		1～3本目程度				4本目程度以降					
			異状有	写真番号	異状有	写真番号	異状有	写真番号	異状有	写真番号	異状有	写真番号		
措置	有													
調査	□	腐食	鉄筋が露出している		□		□		□		□		□	
		たるみ・蛇行	たるみ・蛇行、滞留が生じている		□		□		□		□		□	
		破損	欠落、亀甲状の割れ(塩ビ)、土砂の露出・流入がある		□		□		□		□		□	
清掃	□	クラック	亀裂、土砂の露出・流入がある		□		□		□		□		□	
		継手ズレ	脱却、継手ズレ、土砂の露出・流入がある		□		□		□		□		□	
		偏平・変形	偏平、内面への突出しが生じている(塩ビ)		□		□		□		□		□	
その他	□	突出し・抜け	本管の突出し・抜けが生じている		□		□		□		□		□	
		浸入水	継手や異状箇所から水が流れている		□		□		□		□		□	
		取付け管突出し	取付け管が突き出ている		□		□		□		□		□	
		流下阻害	土砂・油脂・樹木根・モルタル・異物等がある		□		□		□		□		□	
備考														

本管接続方向の模式図



特記事項

注意事項 ※下流管口はNo.1(12時方向)とする。
 ※継手部の異状は上流側の本管で発生したと考える。
 ※未確認箇所がある場合は調査に○する。
 ※マンホールに取り付け管口が接続している場合、調査対象外の路線が接続している場合は、特記事項に記入する。

マンホール蓋/マンホール点検記録表（例）

コードNo.

基本情報	点検日	平成 年 月 日	記録者			
	マンホール番号			排除方式	□汚水 □雨水	
	道路種別	□国道 □県道 □市道 □町道 □村道 □私道 □その他		占有位置	□車道 □その他(歩道) □その他()	
	舗装種別	□アスファルト □コンクリート □平板ブロック □砂/土 □()		蓋タイプ番号		
	呼び径	□φ900×600 □φ600 □φ300(防護) □φ300(直接) □その他()		材質	□FCD700/600 □FCD □FC □CR □不明	
	支持構造	□急勾配受け □緩勾配受け □平受け		耐荷重種別	□T-25 □T-20 □T-14 □T-8 □不明	
	製造メーカー	□ヒノテ □長島 □日豊 □その他() □不明		蓋裏製造年	(西暦) 年 □不明	
	マンホール種別	□組立MH □JISMH □特殊MH □その他()		人孔深	H=()m	受枠高さ H=()cm
	直(斜)壁上面～路面の高さ	H=()cm		調整リング	H=()cm×()個、H=()cm×()個、()cm×()個、□なし	

[マンホール蓋]

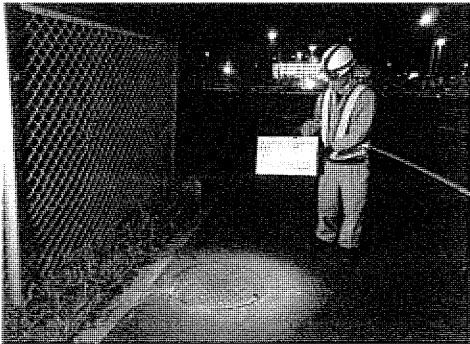
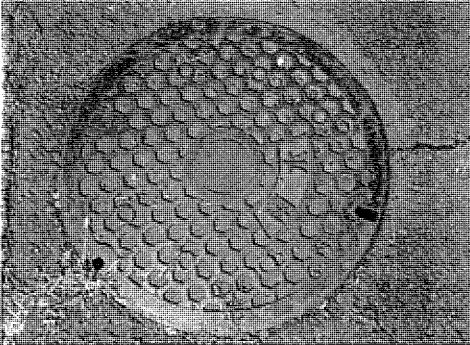
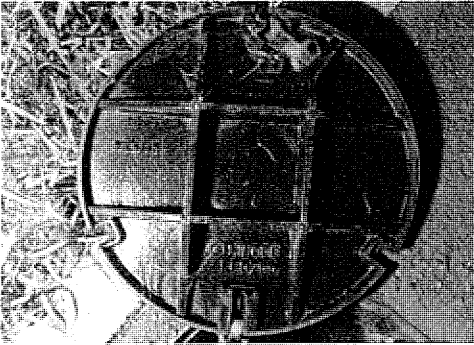
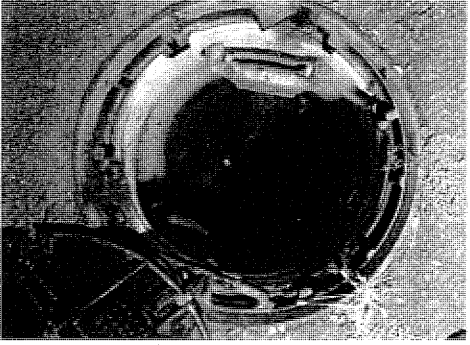
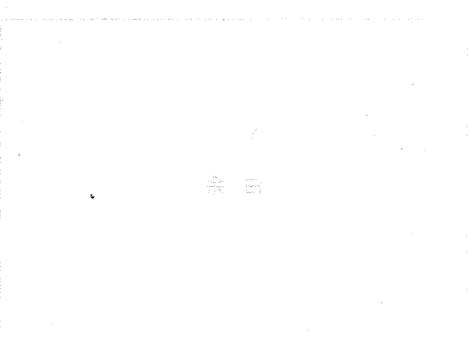
点検項目	状態		判定	
1. 耐荷重種別	車道	T-25の蓋設置	□E	
		T-20の蓋設置	□C	
		T-14の蓋設置	□B	
		T-8の蓋設置	□A	
		不明	□不明	
	歩道・その他	T-25の蓋設置	□E	
		T-20の蓋設置	□E	
		T-14の蓋設置	□E	
		T-8の蓋設置	□C	
		不明	□不明	
2. 機能	浮上・飛散防止機能	機能なし		□A
		機能あり	作動しない	□A
		機能あり	作動する	□E
		不法投棄・侵入防止機能(ロック)	機能なし	
	機能あり		作動しない	□A
		機能あり	作動する	□E
		転落・落下防止機能(ロック付き転落防止梯子)		
		機能なし		□A
		機能あり	作動しない	□A
			作動する	□E
		開閉機能	人力では開閉不能	
	開閉困難(勾配面腐食)		□B	
	開閉困難(食い込み力)		□C	
	正常に開閉可能		□E	
3. 外観	□蓋のクラック・欠け □受枠のクラック・欠け		□A	
	問題なし		□E	
4. がたつき	□蓋のがたつき □受枠のがたつき		□A	
	問題なし		□E	

点検項目	状態		判定	
5. 表面摩耗	模様深さ ※□ コンクリート蓋 ⇒ E () mm			
	表面磨耗の状況	模様高さH H>3mm	2～3mm H<2mm	
		車道 □E	□C	□A
		歩道 □E	□D	□A
6. 蓋/枠間段差	□急勾配受け	凹の場合2mm以上		□A
		凸の場合10mm以上		□A
		凹の場合2mm未満		□E
		凸の場合10mm未満		□E
	□平受け	凹の場合10mm以上		□A
		凸の場合10mm未満		□E
7. 腐食	平板部もしくは井桁リブ部の減肉		□A	
	鑄出し表示の消滅、開閉性能阻害		□B	
	鑄出し表示が見えるが、裏全面/一部に発錆		□D	
	問題なし		□E	
8. 高さ調整部損傷	□欠け □充填不良 □クラックあり		□A	
	問題なし		□E	
9. 周辺舗装損傷	穴 もしくは 穴とクラック		□A	
	クラックあり		□B	
	受枠と路面との間に隙間あり		□C	
	損傷なし		□E	
10. 蓋/周辺舗装段差	段差の状態 □凹 □凸 () mm			
	20mm以上の段差		□A	
	20mm未満の段差		□E	
11. 足掛金物	総数 ()本	□問題なし □腐食()本 □欠落()本		
	()本	□樹脂破損 □その他()		
12. 斜壁(※下部に対し)	□問題なし □ズレ □破損 □浸入水			
13. 直壁(※下部に対し)	□問題なし □ズレ □破損 □浸入水			
14. 側壁(管取付)	□問題なし □破損 □浸入水			
15. インパート	□問題なし □破損 □浸入水			
16. 腐食	□問題なし □鉄筋露出 □骨材露出 □表面荒れ			

備考

□ガス孔あり □蓋の掛け違い □現地に蓋なし □クサリ切れ □蝶番破損
 □蓋裏型式記号() □その他()

マンホール蓋点検写真(例)

図面番号	台帳番号ID	施設情報	道路種別
全景		近景	
蓋表		蓋裏	
MH内部		不具合①	
不具合②		不具合③	

調査記録及び調査集計表記入表示（凡 例）

管 路 施 設	種 別	記 号
本管・取付け管	陶 管	T.P
	鉄筋コンクリート管	H.P C.P
	硬質塩化ビニル管	V.P V.U
	そ の 他	
汚 水 ま す	L 形 ま す	30 35 50
	丸 ま す	⑤ ⑮ ⑳
	そ の 他	
雨 水 ま す	道路排水用雨水ます	●
	宅地排水用雨水ます	・
取 付 け 管	取 付 け 管	—————
	取付け管（直取付け）	……………
	ソ ケ ッ ト の み	—————×

注 その他には、ダクタイル鋳鉄管：DIP，強化プラスチック管：FRPM，レジンコンクリート管：RS，RT等を適宜追加する。（管きよの略称はJ S W A S規格より）

調査判定基準【鉄筋コンクリート管等（遠心力鉄筋コンクリート管含む）及び陶管】
(例)

ス パ ン 全 体 で 評 価	ランク		A	B	C
	項 目				
	管 の 腐 食		鉄筋露出状態	骨材露出状態	表面が荒れた状態
	上下方向 のたるみ	管きよ内径 700mm未満	内径以上	内径の1/2以上	内径の1/2未満
		管きよ内径 700mm以上 1650mm未満	内径の1/2以上	内径の1/4以上	内径の1/4未満
管きよ内径 1650mm以上 3000mm以下		内径の1/4以上	内径の1/8以上	内径の1/8未満	

管一本ごと	ランク		a	b	c
	項 目				
	管の破損 及び軸方向 クラック	鉄 筋 コンクリート管等	欠 落 軸方向のクラックで 幅 5 mm以上	軸方向のクラックで 幅 2 mm以上	軸方向のクラックで 幅 2 mm未満
		陶 管	欠 落 軸方向のクラックが 管長の1/2以上	軸方向のクラックが 管長の1/2未満	—
に	管の円周方向 クラック	鉄 筋 コンクリート管等	円周方向のクラックで 幅 5 mm以上	円周方向のクラックで 幅 2 mm以上	円周方向のクラックで 幅 2 mm未満
		陶 管	円周方向のクラックで その長さが円周の2/3以上	円周方向のクラックで その長さが円周の2/3未満	—
評価	管 の 継 手 ズ レ		脱 却	鉄筋コンクリート管等：70mm以上 陶 管：50mm以上	鉄筋コンクリート管等：70mm未満 陶 管：50mm未満
	浸 入 水		噴き出ている	流れている	にじんでいる
	取付け管の突出し		本管内径の1/2以上	本管内径の1/10以上	本管内径の1/10未満
	油 脂 の 付 着		内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	—
	樹 木 根 侵 入		内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	—
	モ ル タ ル 付 着		内径の 3 割以上	内径の 1 割以上	内径の 1 割未満

注1. 段差は、mm単位で測定する。また、その他の異常（木片、他の埋設物等で上記にないもの）も調査する。

注2. 取付け管の突出し、油脂の付着、樹木根侵入、モルタル付着については、基本的に清掃等で除去できる項目とし、除去できない場合の調査判定基準とする。

注3. 判定項目は、各自治体の地域特性を踏まえて追加してもよい。

出典：ストックマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化計画策定に関する手引き（案）に加筆

調査判定基準【硬質塩化ビニル管】（例）

評価 全体の 価	ランク		A	B	C
	項目	適用			
	上下方向の たるみ	管きよ内径 800mm以下	内径以上	内径の1/2以上	内径の1/2未満

管 1本ごと に評価	ランク	a	b	c
	項目			
	管の破損及び 軸方向クラック	亀甲状に割れている	—	—
		軸方向のクラック		
	管の円周方向 クラック	円周方向のクラックで 幅：5mm以上	円周方向のクラックで 幅：2mm以上	円周方向のクラックで 幅：2mm未満
	管の継手ズレ	脱却	接合長さの1/2以上	接合長さの1/2未満
	偏 平	たわみ率15%以上の扁平	たわみ率5%以上の扁平	—
	変 形※ (内面に突出し)	本管内径の 1/10以上内面に突出し	本管内径の 1/10未満内面に突出し	—
	浸 入 水	噴き出ている	流れている	にじんでいる
	取付け管の突出し	本管内径の1/2以上	本管内径の1/10以上	本管内径の1/10未満
	油脂の付着	内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	—
	樹木根侵入	内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	—
	モルタル付着	内径の3割以上	内径の1割以上	内径の1割未満

※材料の白化が伴う変形はaランクとする。

注1. 段差は、mm単位で測定する。また、その他の異常（木片、他の埋設物等で上記にないもの）も調査する。

注2. 取付け管の突出し、油脂の付着、樹木根侵入、モルタル付着については、基本的に清掃等で除去できる項目とし、除去できない場合の調査判定基準とする。

注3. 判定項目は、各自治体の地域特性を踏まえて追加してもよい。

出典：横田敏宏、深谷渉、末久正樹、野澤正裕：下水道管きよのストックマネジメント導入促進に関する調査、

国土技術政策総合研究所資料第773号 平成24年度下水道関係調査研究年次報告書集，平成26年1月

マンホール・マンホール蓋の調査判定基準(例)

部位	異状項目	調査結果			備 考
		A ランク	B ランク	C ランク	
マンホールふた	路面	路面状況	舗装版にクラックや欠けがあり、通行に支障を来す	段差が生じている、又は擦り付けが悪く水が溜まる、又は道路との擦り付けが悪い	
	ふた・受け枠	ふた違い・ガタツキ	開閉できない	ガタツキがある	—
		ふたの損傷・劣化	ふた・受け枠にクラックや欠けがある	—	—
		ふたの摩耗	表面がつるつるして通行に支障を来す(ふたの模様高さが2mm以下)	摩耗が大(車道のふたの模様高さが2~3mm以下)	摩耗が小(歩道のふたの模様高さが2~3mm以下)
		ふたの錆	—	多量発錆	少量発錆
マンホール内部	調整部	調整部状況	鋼製モルタル及びリングが破損・欠落	鋼製モルタル及びリングのずれ	鋼製モルタル及びリングのずれ・クラック
	斜壁	腐食	鉄筋露出	骨材露出	表面の荒れ
		破損	欠落・陥没	全体に亀裂	軽微な破損(A・B以外)
		クラック	全体にクラック(人孔全局、幅5mm以上)	部分的にクラック(人孔半周、幅2~5mm以上)	軽微なクラック(幅2mm未満)
		隙間・ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかな隙間・ズレ
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態
		木根侵入	内径の50%以上	内径の10~50%以上	内径の10%未満
	直壁※1	腐食	鉄筋露出(表面pH:1程度)	骨材露出(表面pH:3未満)	表面の荒れ(表面pH:3以上5以下)
		破損	欠落(陥没)	全体に亀裂	軽微な破損(A・B以外)
		クラック	全体にクラック(人孔全局、幅5mm以上)	部分的にクラック(人孔半周、幅2~5mm以上)	軽微なクラック(幅2mm未満)
		隙間・ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかな隙間・ズレ
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態
		木根侵入	内径の50%以上	内径の10~50%以上	内径の10%未満
		タルミ	内径の3/4以上	内径の1/2~3/4	内径の1/2未満
	足掛金具	腐食・劣化状況	欠落している	鉄筋が細くなっている	錆の発生
	インパート	インパート状況	インパートがない	部分的な欠落	—
	全体	臭気	常に発生	使用ピーク中に発生	季節的に発生
	流下状況	油脂・モルタル・土砂等の堆積状況	管径の1/3以上の付着	管径の1/3~1/10の付着	管径の1/10未満の付着

※1 管口部を含む。

※2 表面pHは、硫化水素によるコンクリート腐食の可能性がある場合に測定する。

※3 足掛本数は、調査実施時に残存している本数とする。

出典：下水道管路施設の点検・調査マニュアル(案)に加筆・修正

平成25年6月、公益社団法人日本下水道協会

[illegible]

本管調査記録表

上流マンホール No.										下流マンホール No.																													
区画	メッシュ	番号	枝	マンホール種別	マンホール深	管頂深	管種	管径	マンホール間距離	区画	メッシュ	番号	枝	マンホール種別	マンホール深	管頂深	管種	管径	マンホール間距離																				
					m			m								m		m																					
マンホール内点検										マンホール内点検																													
継手部 継手数 写真番号 内 容 管口										管本数 ソケット数 管不良数 VTR番号 カウンタ―番号 布設年度 [本] [検明] [本] [検] [年]																													
										本管部 管本数 写真番号 内 容 占用位置 1. 国道、県道、主要市道の車道 2. 鉄道、歩道、ガードレール内 3. 上記以外																													
																				ソケット部 取付番号 写真番号 内 容 該当番号																			
																				考 察																			

主1 考査欄には、管路施設の損傷状況に加え、道路交通概況、生活廃棄物概況、近接工事、損傷原因、損傷の進行性、損傷の新旧等について記述すること。

主2 () 内の数値は、スパン全体で評価する「管の腐食」、「上下方向のたるみ」、清掃等で除去可能な「樹木根侵入」及び「取付け管の突出し」を除いたものである。

取付け管用調査記録表 (例)

No.			区画			メッシュ			番号			校		
上流マンホール			区画			メッシュ			番号			校		
ます 番号														
調査距離 (m)														
管 本 数														
ま す														
左 内														
管														
取付け管内														
側														
取付け管管径														
取付け管管径														
写真番号														
VTIS番号														
カウンター番号														
占有位置														
1. 国道、県道、主要市道の車道														
2. 裏通り、歩道内、カーブドレーン内														
3. 上記以外														
賦当番号														
音														
ます 番号														
調査距離 (m)														
管 本 数														
ま す														
右 内														
管														
取付け管内														
側														
取付け管管径														
取付け管管径														
写真番号														
考 察														

No.			区画			メッシュ			番号			校		
上流マンホール			区画			メッシュ			番号			校		
ます 番号														
調査距離 (m)														
管 本 数														
ま す														
左 内														
管														
取付け管内														
側														
取付け管管径														
取付け管管径														
写真番号														
VTIS番号														
カウンター番号														
占有位置														
1. 国道、県道、主要市道の車道														
2. 裏通り、歩道内、カーブドレーン内														
3. 上記以外														
賦当番号														
音														
ます 番号														
調査距離 (m)														
管 本 数														
ま す														
右 内														
管														
取付け管内														
側														
取付け管管径														
取付け管管径														
写真番号														
考 察														

異状内容		上下方向のたるみ			管の破損			管のクラック			管の継手ズレ			浸入水			取付け管の突出し			油脂の付着			樹木根侵入			モルタル付着			計			備 考		
異状箇所		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C						
左 側																																		
右 側																																		
計																																		

注1 管体側には、管体腐蝕の現状に加えて、道路交通状況、生活環境状況、近接工事、掘削原因、掘削の進行性、掘削の新旧等について記述すること。
 注2 () 内の数値は、スベール金で評価する「管の腐食」、「上下方向のたるみ」、「管の破損」、「管のクラック」、「管の継手ズレ」、「浸入水」、「取付け管の突出し」及び「取付け管の突出し」を記入したものである。

本管用調査記録表(記入例)

[illegible]

取付け管用調査記録表(記入例)

[illegible]